

# 3学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

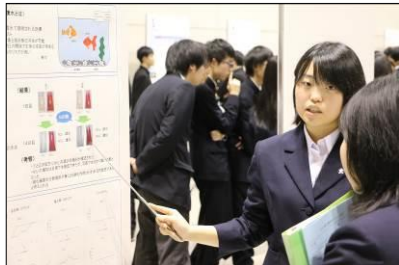
3 学年通信 65 号 通算 245 号

2017. 11. 10 (金) +63 点

### 興数紹介Ⅲ

年末になると「興数まとめなきゃ！」という気分になる。興数とは「興譲館の数学」の略。本校数学科で長い歴史を持つ問題演習冊子。いつ頃からなのでしょうね。私の頃はもろんなかったけれど、山口優先生の高校時代はあったそう。数学科のTS先生やKT先生が担任をされていた頃で、優先生の担任は現在も米興におられるKM先生（わかる？）。当時、KM先生は毎週「学級通信」を発行されていて 11 年前に赴任した私はそのクオリティと「気概」に感動したのです。それは今も学年通信や興数の「精神」として息づいています。今回は 22 号から 26 号までを掲載しています。以前に興味のある人は、2 学年通信 No.90-154、1 学年通信 No.46 を米興HPでご覧下さい。

興数 22。表紙は、2016 年 12 月 17 日(土) 山形県サイエンスフォーラム in ビックウィングでパネル説明をするSHさんです。SHさんは非常にアクティブです。大学の講義を受講したり海外でも研究発表してきました。本校SSHを牽引してくれた理系女です。今後は大学でも「世界に羽ばたく研究」を期待しています。22 歳頃にお会いしたいですね。ちなみに副題は「子供の頃から感じていた“何でだろう？”の疑問は大人になっても大切にしたいと思う」です。今読んでも秀逸なコピーだと思う。私も「何でだろう♪何でだろう♪」って歌って踊れるジイさん目指そうっと！裏面は山形県サイエンスフォーラム。小さいのでHPで観てね。



興数 23。2017 年 1 月 17 日 (火) 予餞会。「各クラスのビデオ作品素敵でした。T世団長も白ラン着るとカッコいいね」です。予選会の一場面ですが構図もイイし、そこしかないという「一瞬」を捉えた秀逸な一枚です。ちなみにカメラマンは私ではありません。米興一の撮影技術を持つST先生から一枚頂きました。あれからもうすぐ1年。あのときの先輩の気持ちがわかるでしょう？でも、歴代米興生皆が歩んできた道であり試練です。先輩もこれを乗り越えて大きく成長したのです。副題「俺達の時代がやってきた。日本一の学年を目指し、残り300余日に人事を尽くす2年生諸君にエールを贈る！」です。裏面は3組の作品。岸先生を使うとは大胆不敵。毎回興数 No にかけて一言記すのですが、今回は「頑張れ兄さん！」。赤面するほどベタなコピー。なお、1995 年 1 月 17 日 阪神淡路大震災の日であることを忘れていけない。



興数 24。2017 年 2 月 15~18 日「2 年理数科 SSH 台湾海外研修。右前の彼の笑顔が焼き付いて離れない!？」です。この写真が「トラウマ」となったのは私だけではないはず。台湾の大学生ですかね。副題「英語ペラペラ・よく勉強し・女性に優しい、でも同じ星に住む仲間彼らと共にガンバローZ！」だって恥ずかしい。でも私の願いはそう。これからは「共に地球市民」と思って欲しい。そのような体験を高校時代にできた貴方達は幸せだ。理数科&SSHでよかったね。でもこのSSHは国の税金なのだから、恩恵を受けた諸君はいつか世の中にお返ししなければならないと思う。また、SSHはKM先生はじめ多くの先生方のご努力があることを忘れてはいけない。最上の母校貢献は「米興初のノーベル賞受賞」と心得よ。待ってるZ。



興数 25。この写真を載せるためにリリースした通信と言っても過言ではない。前号同様、理数科台湾研修なのだけれど「文系のES君が台湾にいた」という衝撃の1枚。彼本人では無いのだけれど、どこから見てもES君だね。ちなみに左端はIS君にソックリ！と思ったら本物のIS君でした。そこでこの通信をHPで観た台湾のES君似の彼のために「日本のES君の写真」を掲載します。学年いもに会からの1枚。右側でマシュマロ食べているのが彼です。小さくでよくわからないでしょうからPDF拡大して観てね。いつか出会えるといいですね。



興数 26。2017 年 1 月 14 日「センター試験朝のチーム興譲館。君が願うなら空を飛べるし湖の水を飲み干すこともできる」アンタどれだけカリオストロ好きやねん！と突っ込まれるね。実はこの写真、私一番好きかもしれない。センター試験へ先輩を送り出した先生達です。ポイントは白黒両方の岸先生そしてヤッサン・正憲先生・小池先生。実はこの先生方は皆、諸君の先輩なのです。今はそれぞれ別の道を歩んでいるけれど心はひとつ。諸君らのことは1ヶ月に1度は思い出して応援してくれていると思う。応援と言えば同じく先輩のHT先生。センター試験激励会などで勇ましくエールを切ってくれる。こんなにも素敵な先輩&先生方に愛されている諸君はホント幸せ者です。



お詫びと訂正です。前号の奨学金返済に登場頂いた「E科IK先生」の記述に間違いがありました。正しくは「アルバイトで稼いだお金を貯金して不足分を保護者に負担して頂いた」のだそうです。ちょっとした違いが大きな違いでした。本当にスイマセン。そして、やるな！です。あともう1つ。鈴木晃彦先生の「晃」を「輝」と記載してしまいました。大変失礼しました。バタバタした仕事をしてはイケないと痛感します。3年生諸君は私を反面教師とし「落ち着いて確かな学びを实践すること」を今まで以上に心がけて下さい。なお、興数紹介は続きます。私には実に楽しい仕事です！**結**



国公立大学の推薦・AO入試が来週からドッ！と始まります。推薦AOを志望した3年生諸君には「二兎を追う者は人の二倍頑張れ」と激しました。また「最低限の時間で最高の成果を挙げろ」と。緊張も不安もあるだろうけれど、担任の先生はじめ多くの先生方や保護者の方から協力して頂き無事出願して、受理され受験票が届き、大きな病気や怪我も無く受験の準備ができる「今の自分があること」に感謝すればいい。面接では大いにアピールしてこい。母校の「世に尽くす精神」に勝るものはない。「日本一になる」なんて学年目標もあまり無い。諸君ほど明るく誠実に努力した高校生はザラにいない。だから「\*\*\*の道で世の中に尽くします」とか「\*\*\*で日本一になります」や「誠実さと努力と笑顔は誰にも負けません」と、いつも私達が目指している地平を熱く語って来い。志高き青年だ！と絶賛されるか、コイツは何だ？と不思議がられるかわからないけれど、面接官へ米興スピリットを投じて来い。その一言で世界が少しだけ変わるかもしれないから。そして受験終了1分後には、受験したことの一切を忘れ本道である学びの道を走り出せ。合否結果のことは1mmも考えてはいけない。それはアチラの人が決めること。もう自分ができることは何も無い。しつこいようだが結果には絶対期待しない。これも出願前に諸君らと約束したこと。健闘を祈る！

さて、これからのことを整理してみよう。明日ポッキーの日は東北大等の実践模試（希望者）があります。記述模試も最後です。ベストなパフォーマンスができるよう心身を整えて臨むこと。模試受験者以外の方は通常の週末通り7:30~16:30と9時間も学校で勉強できます。2日間なら18時間です。苦手な1分野を克服するなどテーマを持って学んで下さい。小多B、図書館、会議室、各ゼミ室が模試受験場になるので静かに通行して下さい。大多は終日使用可能です。なお、土日とも暖房を入れて頂きました。暖房費は県の税金です。納税者の方々の期待を裏切らないよう、しっかり学習して下さい。本日は「学年末考査」の2週間前です。どの教科も受験対策となる考査範囲を提示して下さい。この学びを通じて、自らの実力を大きく高めることが第一の命題です。高校3年間の成績も確定します。悔いの残らないよう全身全力で学んで下さい。きっと君はもっとできる。きっと君はまだまだ伸びる。私はそう思います。「俺はできる。俺は伸びる。\*\*\*大学に絶対合格する」と、寝る前に大声で5回音読すると実現するそうです。田舎の人は田んぼに向かって、町場の人はお風呂場で絶叫して下さい。自分で自分を鼓舞できる人になりましょう。1人で生きていくための大切なレッスンです。さて、来週は月・水・金がそれぞれ水・金・月曜の授業となります。また、水曜日は一斉退校日（19時完全下校）となりますので予定しておくこと。来週以降、考査までの休日は学校開放を検討していますが先生方のご都合もあるので不確定です。もうすぐ雪も降ってきます。移動時間を考えると自宅での学習が最良です。家でできる人になりましょう。一応確認しておきますが「家出できる人」ではありません。Oh！ホント日本語ムズカシイで〜す。

実は家の息子も今週受験なのです。昨夜は珍しく「緊張して眠れない」と深夜に起きてきて小論文を書いたり面接ノートを見たりしています。傍らでACCの準備をしていた私は、前号面接女子のことを思い出して「尊敬する人は？」と聞いたら「野口英世」と答えました。父じゃないのかと思いつつ「何をした人？」と聞いたら「何だっけ」ときた。それマズイよ。他に誰かいないのと言ったら「おばあちゃん」とのこと。どうしてと聞いたら「もうすぐ80なのに頑張ってるから」息子も今年18歳。この3年間で少しは成長したかなと実感した素敵な夜になりました。終